

キーワード： パソコン、スマホ、出前指導

研究・地域連携活動の背景・目的

パソコンやスマートフォンの操作を習いたい市街地から遠く離れているということであきらめている高齢者に、こちらから（学生および教員が）出向いていきこれらの操作技術を指導することで地域の活性化に貢献する。

期待される効果などアピールポイント

現在霧島市には、高齢化が進行している集落が複数あります。これらの地域のお年寄りにパソコンやスマホを用いたコミュニケーションを指導することで、その地域の新たな活性化が期待できます。また指導援助する学生との触れ合いによる効果も大きいと考えられます。

研究・地域連携活動の概要紹介

以下の内容で活動を実施いたします。

- 1 市街地から遠く離れた集落の中から、パソコン&スマートフォン出前指導の希望者が多い箇所を抽出。1フェーズごとに8月、9月、10月の3か月間で計6回の出前指導を実施します。（全5フェーズ）
- 2 募集人数は1か所で5名、合計25名程と考えています。
- 3 テーマは「身近な古里のよさを発信しよう」とし、パソコンを操作して以下のような操作を実施し、作品を作成することを目標とします。

<フェーズ1>

- ①パソコンで文章を作る ②スキャナで写真や絵を取り込む ③作成したものを印刷する

<フェーズ2>

- ①パソコンでポストカード用の文面を作る ②スキャナで写真や絵を取り込む。
③取り込んだ写真、絵を加工する ④作成したものをポストカードに移して印刷する

<フェーズ3>

- ①スマートフォンの基本操作を身に付ける。
②パソコンにあるデータをメモリカード経由でスマートフォンに移す
③移したデータをメール等を用いて、お互いにあるいは身近な人に送信してみる

<フェーズ4>

- ①スマートフォンで写真を撮る ②スマートフォンで撮った写真をパソコンに移す
③パソコン上の写真を修整、合成、部分取り出し等する ④加工した写真を印刷する

<フェーズ5>

- ①ホームページ作成ソフトの使い方を説明 ②簡単なホームページを作ってみる
③これまで作成した文書や写真をホームページにしてみる
④大学のWebサーバに作成した作品を転送してインターネットで見える